

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公表番号】特表 2007-507595 (P2007-507595A)

【公表日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報 2007-012

【出願番号】特願 2006-534224 (P2006-534224)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 77/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/53 (2006.01)**

**C 0 8 K 7/14 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 K 5/53

C 0 8 K 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 1 日 (2007.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

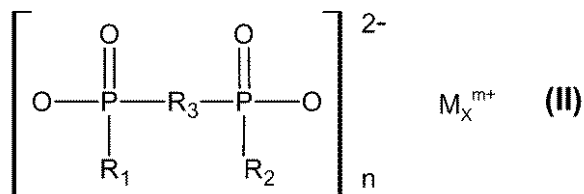
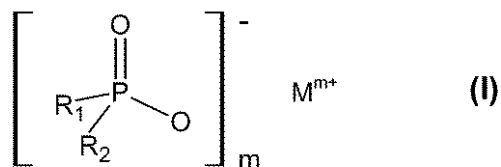
【請求項 1】

難燃性ポリアミド樹脂組成物であって、

(a) 約 5 ～ 約 75 モルパーセントの芳香族モノマーに由来する芳香族ポリアミドを約 20 ～ 約 90 重量パーセントと、

(b) 式 (I) のホスフィン酸塩、および / または式 (II) のビスホスフィン酸塩、および / またはこれらのポリマーを含む難燃剤を約 10 ～ 約 40 重量パーセントと、

【化 1】



[ 式中、 $\text{R}_1$  および  $\text{R}_2$  は、同じまたは異なり、直鎖または分枝状の  $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$  アルキル、および / またはアリールであり、 $\text{R}_3$  は、直鎖または分枝状の  $\text{C}_1 \sim \text{C}_{10}$  - アルキレン、 $\text{C}_6 \sim \text{C}_{10}$  - アリーレン、- アルキルアリーレン、または - アリールアルキレン

であり、Mは、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、アルミニウムイオン、および／または亜鉛イオンであり、mは、2～3であり、nは、1または3であり、xは、1または2である]

(c) 無機補強剤、および／または充填剤を0～約60重量パーセントと、

(d) 少なくとも1つの相乗剤を0～約10重量パーセントと、を含み、

上記に記載した百分率が、組成物の全重量を基準にしたものである難燃性ポリアミド樹脂組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

したがって、本発明のポリアミド樹脂組成物は、優れた難燃性、および良好な機械的諸特性、および高熱トラッキング指数、および低密度を所有する樹脂組成物であることが理解できる。さらに、著しい金型付着物を発生させることなく組成物を成形することができる。

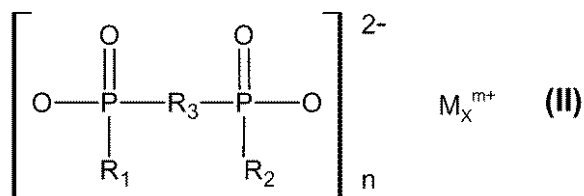
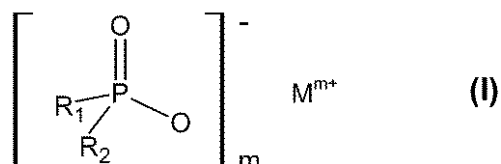
なお、本発明の好ましい態様としては以下のものを挙げることができる。

1. 難燃性ポリアミド樹脂組成物であって、

(a) 約5～約75モルパーセントの芳香族モノマーに由来する芳香族ポリアミドを約20～約90重量パーセントと、

(b) 式(I)のホスフィン酸塩、および／または式(II)のビスホスフィン酸塩、および／またはこれらのポリマーを含む難燃剤を約10～約40重量パーセントと、

【化1】



[式中、R<sub>1</sub>およびR<sub>2</sub>は、同じまたは異なり、直鎖または分枝状のC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、および／またはアリールであり、R<sub>3</sub>は、直鎖または分枝状のC<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>-アルキレン、C<sub>6</sub>～C<sub>10</sub>-アリーレン、-アルキルアリーレン、または-アリールアルキレンであり、Mは、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、アルミニウムイオン、および／または亜鉛イオンであり、mは、2～3であり、nは、1または3であり、xは、1または2である]

(c) 無機補強剤、および／または充填剤を0～約60重量パーセントと、

(d) 少なくとも1つの相乗剤を0～約10重量パーセントと、を含み、

上記に記載した百分率が、組成物の全重量を基準にしたものである難燃性ポリアミド樹脂組成物。

2. 1つまたは複数の酸化防止剤をさらに含むことを特徴とする1に記載の難燃性ポリア

ミド樹脂組成物。

３．１つまたは複数の酸化防止剤が、フェノール系酸化防止剤、チオエーテル系酸化防止剤、および亜リン酸塩系酸化防止剤のうちの１つまたは複数から選択されることを特徴とする２に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

４．芳香族ポリアミドが、ポリアミド６，Ｔ／６，６；ポリアミド６，Ｔ／Ｄ，Ｔ；ポリアミド６，Ｔ／６，Ｉ；ポリアミドＭＸＤ，６；ポリアミド１２，Ｔ；ポリアミド１０，Ｔ；およびポリアミド９，Ｔから選択される少なくとも１つであることを特徴とする１に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

５．相乗剤（ｄ）が、ホウ酸亜鉛、酸化アルミニウム、またはペーライトのうちの１つまたは複数であることを特徴とする１に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

６．相乗剤（ｄ）が、約０．５～約８重量パーセントで存在することを特徴とする１に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

７．無機補強剤および／または充填剤がガラス繊維であることを特徴とする１に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

８．難燃剤（ｃ）が、ホスフィン酸ジエチルアルミニウムおよび／またはホスフィン酸メチルエチルアルミニウムを含むことを特徴とする１に記載の難燃性ポリアミド樹脂組成物。

９．１～８のいずれか一項に記載の耐燃焼性ポリアミド樹脂組成物を含むことを特徴とする成形品。

１０．コネクタ筐体、ブレーカ筐体、および接触器筐体からなる群から選択されることを特徴とする９に記載の成形品。

１１．電気コネクタとしてのものである１０に記載の成形品。